

福祉ふでおか

「福祉ふでおか 第四十三号」発刊にあたり

筆岡地区社会福祉協議会

会長 田川 義博

令和5年11月吉日
第43号
筆岡地区社会福祉協議会
会長 田川 義博

令和五年五月八日に新型コロナウイルス感染症が第五類感染症に位置づけられました。それに伴い筆岡地区内外の諸団体主催による行事が復活を遂げました。しかし感染はいつ起こることも限りませんので引き続き注意をはらいながら実施をお願いしたいと思います。

九月十一日に高知県佐川町「あつたかふれあいセンター夢まち」へ筆岡地区社会福祉協議会が視察研修のため訪問をしました。佐川町は朝ドラ「らんまん」で観光化しつつある町で「NPO法人さかわ夢まち協議会」では地域事業活動などを行っています。

この法人は、地域住民により立ち上げた組織で子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを目指しています。研修内容は事業内容の説明・質疑応答を行い内容的にはお互いの拠点で行われている活動話し合いました。



筆岡地区市民体育祭地区大会 (幼小合同運動会)

「完全燃焼 つなぐつなぐのバトン」のテーマのもと、午前の幼稚園の園児、小学校の児童の演技に続き、午後は筆岡地区体育祭が開催されました。前日までの荒天が嘘のような晴天の下、各競技が行なわれました。

子どもたちの演技に拍手を送るのも三年ぶりでした。学校に子どもたちの笑顔と声援があふれ、又地域が一丸となって競技に取り組み、本当に楽しく有意義な一日となりました。競技は



地区対抗 綱引き



地区対抗 二人三脚

地区対抗 障害物競走



長寿会と2年生
玉入れ
大玉ころがし



障害物競走には職員チームも参戦し地区の人々の応援を受けての力走でした。勝負もさることながら一つの目標に向かって、一致団結をすることの素晴らしさを改めて感じた一日でした。

善通寺まつり開催のお礼

筆岡地区コミュニティ協議会

会長 大平 一行

七月二十三日(日)善通寺祭り総踊りで、筆岡踊り連、百名は「よさこい鳴子おどり」の曲に合わせて、市役所前から四国学院正門まで沿道の大きな声援を受けながら全力で踊り抜きました。



コロナ禍での四年間の空白があり不安を抱きながらも、石丸先生のご指導の下、二週間(六日間)の練習でぎこちなかった踊りが日ごとに上手になり、踊り子は不安な顔から満面の笑顔となりました。他方、踊りを支える山車が組み立てられ、両サイドには黒板が設置され多くの子どもたちのアート作品が書き込まれました。「観覧席からの視聴をはじめ皆さんから黒板アートに関心が集まり話題となった」とお聞きしました。

多くの方々に役割分担を担っていただき筆岡踊り連として成功裏に終わることが出来ました。

小学校・幼稚園のPTA、保護者の皆様、教職員、各種団体の皆様又携わっていただいた多くの皆様、本当にありがとうございます。

来年もより多くの皆さんが参加されますようお願いいたします。



筆岡ボランテニア公園祭り

筆岡ボランテニア公園運営会

会長 金森 卓志

八月二十六日(土)に筆岡ボランテニア公園祭りを開催しました。令和元年以来四年ぶりの開催です。直前の雨も影響ありませんでした。辻村市長様を初めご来賓の方々、多数の親子連れなどで大変賑わいました。

今回も子どもたちが大勢来てくれました。浴衣や甚平姿の子ども達も多かったようです。用意したお菓子はほとんどなくなりました。広場では、各種イベントが子どもたちを飽きさせない演出で大いに盛り上がり、打ち上げ花火でファイナルとなりました。子どもたちにとっては学校も始まっており、夏休みからの気持ちを切り替える意味でもいい機会になってくれたものと思います。各種団体出店によるバザーも好評だったようです。



地域の皆様、各種団体の皆様のご協力のおかげで無事開催することが出来ました。誠にありがとうございます。

誰もがいつでも気軽にたちよることができ、安心して利用できる公園として維持管理に努めてまいります。地域の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

高齢者へ記念品の配布 筆岡地区連合自治会

会長 大西 英和

地域内の皆様には日頃から大変お世話になっております。さて、今年には九月十八日が敬老の日でした。敬老の人は「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」とされています。

今年、筆岡地区の高齢者（七十五歳以上）の方は六九八名いらっしゃいました。昨年は六五四名いらっしゃったので四四名増えました。大変喜ばしいことです。



世の中、高齢化社会と言われていますが、先に記述した通り戦後の混乱期から高度成長期を支えてこられ、大変ご苦労された方が今七十五歳以上の方々です。

この方たちにささやかですが記念品（商品券）をお送りさせていただきます。これからもお体を大切に、「健康で長生き」を目標に元気で過ごされますようにご祈念致します。

赤い羽根共同募金のご協力について

本年度も十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されています。善通寺市においては、お寄せいただいた募金は、児童、高齢者、障がい者などの福祉施設、社会福祉団体、社会福祉協議会その他の地域福祉活動に取り組みボランティアグループ等への支援に活用されています。

「じぶんのまちを良くするしくみ」としての共同募金です。本年も皆さまのあたたかいご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。



令和五年六月二日「見守り活動推進委員連絡会及び研修会」が開催されました。

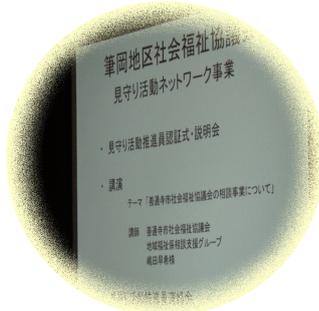
発足から三年目となり、地域のなかでもこの活動が、浸透をしてくていることと思います。

研修内容

*講演

テーマ 善通寺市社会福祉協議会の相談事業について
講話 善通寺市社会福祉協議会地域福祉相談支援グループ

日常生活の中での困ったことや誰かに相談をしたい時には、善通寺市社会福祉協議会にご相談ください。お話を聞きまして、適切な市役所の担当課や関係機関におつなぎします。決して一人で悩まないで下さい。



*各民生委員を中心としたグループ別研修

- ・ 日常的な見守りとは
- ・ 日常生活の中で、さりげなく気にする、気にとどめる。
- ・ みんなの意識が高まることで、孤立・孤独が予防でき異変に気づきやすくなる。

誰もが安心して暮らせる

福祉のまちづくりにつながる。



令和五年度 高齢者交流会 開催される

秋空の下、高齢者交流会が十月二十九日（日）に開催されました。コロナ禍の影響で四年ぶりの開催となりました。この交流会は、筆岡地区内の七十五歳以上の方をご招待して行われました。

今年のアトラクションの内容は、まず、参加者の中から最高齢の男女各一名づつの方に記念品を贈りました。

男性は 形部 宏様 九十七歳
女性は 佐藤 サカエ様 九十七歳



次は 善通寺市女性消防団による寸劇でした。災害はいつ発生するかわかりません。ハザードマップ・非常持ち出し品・薬・貴重品等の確認をしておきたいものです。また、家族間での連絡方法・避難場所の確認もしておきましょう。また、家族間住宅用火災報知器の設置詐欺にも気を付けましょう。



次は 介護予防主任運動指導員の島崎勝行様によるフレイル予防体操の指導でした。

フレイルとは、簡単にいうと加齢により体力や気力が弱まっている状態のことです。以前は「虚弱」「衰弱」などと呼ばれていました。フレイルは要介護状態の前段階と考えられています。適切な介入により再び健康な状態に戻することも期待できます。そのため早めの気づきと対策が重要です。そのための予防体操を指導していただきました。

準備いただいた説明書の「伸び伸び元気コース」からタオルを使って身体ほぐし・大腿四頭筋及び下肢三頭筋強化等を



教えていただきました。普段は使っていない筋肉のストレッチをすることにより、身体がほぐれた気がしました。今日は短時間でしたので、家でも継続して続けて行きたいと思いました。



次は弘田町（弘田下所）在住の大西麻里菜様によるピアノ演奏で
曲目は 戦場のメリークリスマス・涙そうそう

時代・トルコ行進曲 でした。



ピアノ伴奏に合わせて、筆岡地区社協福祉関係者による懐かしの歌の合唱をしました。客席も一緒に楽しく歌いました。

最後にお楽しみ抽選をして大いに盛り上がりました。

あつという間に二時間が過ぎ今年の交流会が終了しました。お土産を手に、来年の再開を約束してそれぞれの皆さんが帰路につきました。ご協力をいただいた皆様本当にありがとうございました。

食生活改善推進委員

会長 長野 秀子

令和五年七月十五日(土)

食育普及活動(親子フェア)

四年ぶりに幼稚園で健康推進委員と合同で親子フェアが行われました。朝食の大切さを理解してもらうために「ありがとう!早寝・はやおき。あさごはんマン。」の紙芝居をしました。子どもたちは静かに聞いてくれました。

郷土料理として、昔から親しまれている《げんこつ飴》を手作りして全員に配りました。めずらしいと好評でした。



令和五年八月六日(月)

子ども食育教室(親子クッキング)

災害時に活用できる、パッククッキング(ポリ袋の中に食材を入れて鍋に湯を沸かして調理します。)を六年生一人、五年生一人、四年生三人、二年生一人と保護者四人で行ないました。子どもたちは、包丁で切ったり、ピーラーで皮をむいたり親子で話をしたり楽しい時間をすごしました。



メニュー

わかめごはん(ラップおにぎり)

鯖じゃが(パッククッキング)

はるさめスープ(パッククッキング)

ダイシモチ麦入りバナナケーキ(パウンドケーキ)



令和五年五月二十日(土)

小学生と一緒に甲山寺でげんこつ飴のお接待をしました。



長寿会に入りませんか

会長 宮武 誠

健康づくり、仲間づくりで楽しい人生を過ごしましょう。六十歳以上の方を対象として、楽しく生きがいを持って、安心して暮らしていくために、「健康づくり」「仲間づくり」「福祉の増進」で住みよい地域づくりの活動をしています。

主な年間活動項目



これ以外にも様々な活動を行なっています。一度のぞいてみませんか?

各サロンの活動報告

宮西のへんろ道

令和5年6月15日（木）
◎初夏に向けての寄せ植え

ペチュニア、ジニア、ペコニア、キャンディキツス
4種類の花を、各自持参の植木鉢に植えてワイワイ楽しい時間を過ごしました。新しい会員さんが3名参加して下さいました。



ユーカリの会

四月、ジャルダン芝桜の里へ行ってきました。半分咲き終わっていましたが、ツツジもきれいに咲いていたので景観を楽しませてもらいました。それから香南楽湯へ行き、ゆったりと入浴をしました。



七月にはJR「四国まんなか千年ものがたり」の旅で大歩危まで行きました。途中の駅では下車をしてスープやケーキのサービスがありました。はっぴや帽子を貸していただき記念撮影をしました。走行中では大小の滝の流れを見られたり、吉野川の流れや、30体ものかかしが迎えてくれたりしました。また駅で太鼓をたたいたり、旗を振って歓迎してくれました。昼食のお弁当のローストビーフは美味しかったです。

令和5年7月24日（月）

◎美霞洞溪谷とみかど温泉
涼しさを求めて讃岐十景に選ばれている美霞洞溪谷の景勝地と道の駅エピアみかど温泉に行ってきました。温泉と食事を楽しみ、地元の野菜を買って帰りました。



弘田下所 げんき会

令和5年4月1日（土）

◎五岳の里へ花見に出かけました。
満開の桜を眺めてのお弁当はとても美味しく、楽しい一日でした。



令和5年5月6日（土）

◎牛乳パックで可愛いカラフルなペン立てを作りました。
自分好みの色紙や千代紙を貼り大満足です。公民館祭りに展示をしますどうぞご覧ください。

